

# 事業報告書

公益財団法人 防長倶楽部

(令和4年10月1日～令和5年9月30日)

令和5事業年度は、概ね3年に渡った新型コロナウイルスも、感染症法上の位置づけが、5年5月8日以降「2類相当」から「5類感染症」に移行され、それまでの特別な対応からインフルエンザ等と同等の対応と変更されました。当倶楽部の各種行事も中止等を余儀なくされることもありましたが、ようやく行事開催も平常に戻りつつありました。しかしながら、新型コロナウイルスまん延が終息した訳ではないため、各種行事の開催にあたっては、感染拡大防止に注視しながら公益事業の継続と着実な業務運営に努めました。

## 記

令和5事業年度（令和4年10月1日～令和5年9月30日）として、以下のとおり事業実施した。

### 1 公益目的事業の状況

#### (1) 教育・文化発展を目的とする学術講演会等の公演活動

会員総会時や例会時にあわせて、講演会等を実施した。

年月日	講演・内容	講師等	受講者数	開催時期
4. 11. 29	講演：小説家が田舎暮らしを語る時～都会暮らしと田舎暮らし～	樋口明雄氏 (小説家)	52人	総会 (秋季)
5. 1. 30	音楽鑑賞： 新春シャンソンの夕べ	山口蘭子（歌手） 戸塚修（作曲家）	69人	例会（賀詞 交換会）
5. 4月	新型コロナウイルス感染拡大 防止により中止	—	—	例会（社会 見学会）
5. 5. 30	講演：新型コロナウイルスとは なんだったのか？	吉村和久氏 (東京都健康安全 研究センター所長)	63人	総会 (春季)
5. 9月	コロナ禍影響に伴う会場確保 困難に伴う講演会の中止	—	—	例会 ※昼間開催

## (2) 奨学金の貸与事業

- ① 現行の奨学生 20 人：奨学金は一人あたり月額 4 万円貸与している。
- ② 奨学金返済中の者 32 人（卒業後の返還据え置き者を含むと 40 人）
- ③ 奨学生に対して教養講座や研修会（卒業時、入学時）等を開催し、資質向上と人材育成に努めた。

年月日	講演・内容等	講師等
4. 10 月	奨学生秋の教養講座（セミナー等）	新型コロナウイルス感染拡大防止により中止
5. 3. 1	研修会(卒業時)：品川プリンスホテル	※参加者 28 人(卒業生 8 人、在学生 8 人、菊友会 3 人、理事等 9 人)
5. 4. 24	研修会(入学時)：品川プリンスホテル	※参加者 29 人(新入生 4 人、在学生 13 人、菊友会 3 人、理事等 9 人)

※ 上記の活動の他、毎月の奨学金受取時に個々の奨学生と個別対談をしながら、日常生活状況、健康状態や進路等について相談に努めた。

## (3) 教育研究活動に対する助成事業

- ① ユネスコ世界遺産登録決定に伴う応援支援  
平成 27 年 7 月に「明治日本の産業革命遺産（九州・山口と関連地域）」が登録決定されたことに伴い、「産業遺産国民会議」や関係自治体等と連携協力し山口県下の産業革命遺産はもとより、多くの関心を持って訪れる見学者等への理解の醸成・環境づくりに引き続き協力している。
  - i 産業遺産国民会議への参加(ルート推進協議会総会/4 年はコロナ禍のため開催見合わせ)、支援。
- ② 教育環境等整備事業等支援  
「地域に根ざした人材を育て教育活動を充実する」ことを目的として、特色ある教育環境の構築を目指している山口県立田布施農工高等学校(田布施町)の活動に対して、教育環境整備事業（① 3D-FAB ソフトを活用したものづくり学習②マイコンを使った制御技術に関連した実習・実験の取組み等）への応援支援を行った。
- ③ その他、本事業の趣旨に沿った教育、文化、スポーツ等を通じて、地域貢献や人材育成等を目指した効果的な教育研究活動事業に対して応援、支援等を行っている。

(4) 山口県出身先賢の事蹟を明らかにしその遺徳を顕彰する事業

- ① 伊藤博文公墓所（品川区指定文化財/品川区西大井六丁目）の管理及び墓前祭（10月26日）の主催。

年月日	行事等	参拝・見学者等
4. 10. 26	墓前祭（コロナウイルス感染拡大防止のため関係者のみで斎行）	40人
4. 11. 3～4. 11. 6	品川区文化財区民公開	約1,000人
4. 10. 1～5. 9. 30	参拝、見学、奉仕等	130人

- ② 伊藤博文公墓（品川区西大井）の管理については、今期も周辺住民や品川区（教育委員会、公園緑地所管部局等）及び地元町会等関係団体との理解と協力を得ながら、植樹剪定・清掃等適切な保安全管理を行った。  
※ 今期（8月）は、墓所の樹木が品川区の保護樹木となっているため、品川区による定期的な（概ね3年毎）伐採剪定の協力を得た。
- ③ 明治維新防長殉難者顕彰会  
（京都市東福寺：4年10月23日：協賛/コロナウイルス感染拡大防止のため欠席）
- ④ 甲子殉難者御祭神例祭（靖国神社：5年6月19日：共催、30人参列）
- ⑤ 乃木神社例祭（港区乃木神社：5年9月13日：協賛/110年記念大祭）

(5) 機関誌の発行

- ① 機関誌は、とりわけ歴史と文化を学び、教養を高め、併せて事業の活性化を図るための基本メディアの一つとして、読者に親しまれる内容を中心に編集することに努めた。年間、延べ5,500部を隔月奇数月（1,000部\*1回、900部\*5回）に発行した。
- ② 機関誌は、会員のみならず山口県の自治体、親交ある他県自治体や協力・交流団体等にも公益事業の一環として広く配付した。また、教育関係者やふるさと会など非会員からの講読希望もあり適宜対応した。
- ③ 奨学生の研修等の活動の一環として奨学生及びその保護者にも配付するとともに、倶楽部会員の加入増強のための活動資料用としても利用した。今後も多様な読者層への普及をめざし、時代に即した話題や学術・教養欄等を充実することはもとより広く山口県を始め、地域の産業や物産情報等の提供など公益法人にふさ

わしい情報発信媒体として読者に親しまれる誌面構成に努めた。

(6) その他法人目的を達成するために必要な事業

① ホームページ等による広報・情報公開

- i 主な事業活動をウェブサイトで活用し一般公開し参加案内等を行った。
- ii 事業計画、役員情報、財務状況を含む事業報告等も情報を公開した。

② 法人会員維持・増強のための情報収集及び広報活動

- i 法人会員の会費収入はもとより、機関誌などへの広告等の支援を得た。
- ii 本活動の重要性を鑑み、関係自治体や関係団体等が主催する各種行事に積極的に参加している。また、必要に応じて関連新聞等への広告等を通じながら、当倶楽部の活動を広く知らせた。

③ 首都圏における山口県への情報発信拠点として、山口県関係機関の首都圏における各種産業・観光・物産フェアや文化活動等並びにU J I ターン促進事業等、情報発信事業等への参加、促進を行った。

④ 当法人の運営基盤は、会員（個人及び法人）の会費にある。その基盤強化のためには、会員の保持増強活動が重要である。前記の諸活動に加え人と人を繋いだ、いわば人脈ネットワークを構築しながら、会員増強に努めた。

⑤ これらの活動の結果、今期の会員動向は個人会員の新規入会は13人、逝去された方を含む退会は23人、その結果、個人会員は511人、法人会員は11社であった。

## 2 共益事業の状況

(1) 会員等への共益事業の一環として、会員相互の情報交換等を目的とした内容や紹介記事などを機関誌に掲載し、会員のコミュニケーション活動を強化している。

- i 新入会員紹介
- ii 短歌、俳句投稿
- iii 会員便り 等

(2) 福利厚生事業

会員の親睦活動等の福利厚生活動として、コーラス、ゴルフ会、歴史講演会等が活動している。これらの活動予定や報告などについて、機関誌への掲載利便を図った。

活動費等を含めた具体的運営は、それぞれのグループが当団体とは別に主体的に活動している。

(3) 夏祭り 会員の増強、情報交換等交流を深める観点から開催している。

今期は5年8月3日に開催した。(品川プリンスホテル、120人参加)

(4) 会員名簿の発行(前回発行:令和4年9月)

3年毎の倶楽部会員名簿を作成し、会員及び関係機関に配付している。

### 3 法人(管理)事業

(1) 事務局体制に関する事項

職員体制	主たる職務
事務局長	事務局総括
職員	財務・経理等
職員	庶務、出納事務等
職員	奨学会事業、会員管理、行事運営事務等
職員	機関誌編集等

(2) 役員会等

① 理事会

開催日	議事事項	結果
4.11.4	(1) 事業報告書及び収支決算書等(令和3年10月1日~令和4年9月30日)の承認の件 (2) 理事、監事及び評議員の選任等の件 (3) 定時評議員会の招集の決定の件 (4) その他報告事項(理事長、常務理事の職務執行状況報告等)	可決  報告
4.11.24	(1) 業務執行理事(常務理事)の選任の件 (2) 代表理事(理事長)の選任の件	可決
5.4.27	(1) 事業報告書及び収支決算書等(令和4年10月1日~令和5年3月31日)の承認の件 (2) その他報告事項(理事長、常務理事の職務執行状況報告等)	可決  報告
5.9.22	(1) 事業計画書及び収支予算書等(令和5年10月1日~令和6年9月30日)の承認の件	可決

② 評議員会

開催日	議事事項	結果
4. 11. 24	(1) 事業報告書及び収支決算書等（令和3年10月1日～令和4年9月30日）の報告及び承認の件 (2) 理事、監事及び評議員の選任等の件 (3) その他報告事項	可決 報告
5. 4. 27	(1) 事業報告書及び収支決算書等（令和4年10月1日～令和5年3月31日）の報告及び承認の件 (2) その他報告事項	可決 報告

③ 会員総会

開催日	議事事項	結果
4. 11. 29 (秋季)	(1) 事業報告書及び収支決算書等（令和3年10月1日～令和4年9月30日）の報告の件 (2) 事業計画及び収支予算等（令和4年10月1日～令和5年9月30日）に関する報告の件 (3) その他報告	報告 報告 報告
5. 5. 30 (春季)	(1) 事業報告書及び収支決算書等（令和4年10月1日～令和5年3月31日）の報告の件 (2) その他報告	報告 報告

④ 常務理事会

理事会、評議員会、会員総会及び例会開催時等に常務理事会を開催して、倶楽部の運営方法等を審議、報告を行った。今期は、9回開催した。

- ①4年11/4    ②11/29    ③5年1/25（書面審議）    ④4/27    ⑤5/30  
⑥6/12（書面審議）    ⑦7/11（書面審議）    ⑧8/3    ⑨9/22